

## 修道会 リーダーシップグループ 会議の要約 2017年9月

修道会 リーダーシップグループは、ペルーとセントポールの新しいリーダーシップを歓迎し、9月14-18日までオールバニーで会合をもちました。2001年総会以来の主要なステートメントを使用して、4月に行われた修道会臨時総会での経験を回想し会話を始めました。私達の考察から生じた重要な考え方は、想定することよりも深く聴き、人を引き付けるものは資料とみなされると認識したことでした。

臨時総会によって付託された刷新委員会と活性委員会の報告を聞きました。最初、両委員会とも電子会談をして臨時総会決定状況の根本方針に沿って委託されました。刷新委員会は一度顔を合わせていますが、活性委員会は今月末に会合します。委員会は修道会に経過を報告し続け、使徒職を開発するため姉妹達と共に連携しようとしています。[臨時総会決定事項](#)

ズームビデオ会議で、会全体の召命係と直接に話すことができました。彼らは毎月2回会合を開き、将来起ころうとする当面の3つの大目標を設定しました。

(1) 会のコミュニケーションの責任者と協力して会のウェブサイト召命ページを完成させる。(2) 召命使徒職に使用できる省察の記事や姉妹の物語や写真及び他の資料を集める。(3) 若い女性が関心をそそる正義の話題についての話題を始める。彼らの仕事が進むにつれて召命資料の改訂やどのようにペルーと協働するのか取り組んでいます。グループメンバーは、共働を続ける計画をしていて、複合的な取り組みから肯定的なものを見えています。

養成担当者は、現在様々な養成段階にいる女性のための計画遂行の進行を話しました。挑戦的な議論の後、私達はこの経験に参加した幾つかのユニットと共に本会の修練院をロセンゼルスにすることに同意しました。初期養成にある女性のためのプロセスを進めています。次回のCLG会議で正式な会の養成計画を見直していきます。

私達は2019年総会の様々な側面、総会場所・日時・予算・投票権のある参加者の数を増やす考えなどを検討しました。一方、このことは総会のプロセスに及ぼす影響及びコストの増加と関係があります。

私達は、[掛け橋グループ](#)（かつての未来の種まき）の代表者たちとズームで会う機会がありました。7月このコホート隊から34名のシスター達がL.A.に集まり彼らの文化の多様性の豊かさとメンバー間の関わりを深めるためのコミットメントに焦点をあてま

した。新しい名の意味である“橋”はこのグループに現れた精神を語ります。彼らは共通の経験を共有するため、CSJ の関係及び私達の使命を強化する相互信頼関係の中で成長するため会合を続けることが重要であると信じています。グループメンバーも又、大集会の本質を生き生きと保つ精神を共有するためズームによって定期的に会っています。

CLG 会議では、私達の共通の生活の多様な面に関する報告を聞く時間もありました。私達は 2019 総会の準備のために行なわれる選考プロセスの選考委員会の座席について討議しました。ロセンゼルスとセントルイスから、将来、使徒職の スポンサーとなる政府の公的法人の創設の進展について聞きました。同意のためこの機会についてもっと学びたいと興味を持っている人の会話について 聞きました。今年の夏に開催された第一回 ACOF 修道会集会を成功させ、活気づいたことの報告を聞きました。そして、2018 年初頭にセントルイスに移住 する 3 州のアーカイブを準備するため、次のステップを話し合いました。

私たちは、オールバニー管区のシスター達とアソシエート達と一緒に私たちにまつわる作り話を払拭しながら、「私たちの間の関係を深めたいという願望を 果たすために、誰が私たちを誰にする必要があるのか。」というような質問を 試案して、活発なパネルディスカッションを行いました。

閉会にあたって私たちは相互の平和を望み、メリー ダッシー SSJ には別れの挨拶をしました。これはメリーとの最後の会議となりました。過去 2 年間、CLG としての仕事で重要な役割を果たしたメリーに心からの感謝を表しました。彼女の技能、忍耐とユーモアは素晴らしい賜物でした。